



学校だより

子どもの未来をみんなで創る

平成 29 年 9 月号

神奈川県立相模原中央支援学校

2学期が始まりました。2学期は、早々に修学旅行や宿泊学習など宿泊を伴う行事、遠足や校外学習が続きます。高等部は実習が始まります。新たな「交流デイ」も行われます。常の動きとは異なる活動が多くなりますが、体調に留意して、大いに活躍して欲しいと願っています。教育活動の一環として学ぶこともたくさんありますが、楽しい思い出も同じようにたくさん作って欲しいです。始業式では、各種の表彰も行いました。ティーボール部に「さわやか賞」・バスケットボール部男子に夏季大会「優勝」・女子に夏季大会「7位」の表彰状を渡しました、清掃技能検定では、モップの部・ダストクロスの部各級合格者に認定証を、漢字検定も10級、7級、6級、5級それぞれに合格した子どもたちに認定証を渡しました。みんなよく頑張りました。「努力は報われる」～引き続き上位の級をめざして頑張りたいと思います。さて、本校が8月下旬「さがみはらのめぐみ取扱店」(相模原市内で生産された農畜産物を使用した商品を提供する飲食店)に登録されました。学校としては初めての登録になります。このことが神奈川新聞・朝日新聞に掲載されました。高等部の食品加工班は、以前から市内の農畜産物を惣菜パンの具材として使用していましたが、さらに地産地消を目指し、地元の農畜産物を生かした惣菜パンの開発に生徒たちは意欲を見せています。新商品の誕生が楽しみです。

校長 片岡充彦

「ネットワーク・つながり」を大切に、応援していく支援連携グループ

支援連携グループは、本校の理念(コンセプト)：『子どもの未来をみんなで創る』と3つの使命(ミッション)『①子どもの自立と社会参加を支援する②地域とともに共生社会作りをすすめる③相模原地区における支援教育のランドマークとして機能する』を支えていくグループです。「ネットワーク・つながり」を大切に、すべての子どもたちが地域で豊かに生きていくことができるよう、校内や校外の様々な人材や機関と連携しながら、お子さんの学習面・身体(健康)面・生活面(学校・家庭・地域)・進路面等の発達・成長を担任や保護者の方々と協力して応援しています。具体的には「教育相談・自立活動」「地域連携」「進路支援」と3つのチームに所属する教員が協力し合って業務にあたっています。

年間を通して様々な取り組みをしていますが、夏休みには特に集中してこの本校の「理念」「使命」に関わる取り組みをたくさん行いました。ボランティアの皆さんや和泉短期大学の学生と共に大いに盛り上がった『あそびの広場』、地域の小中学校や関係機関の方々、本校の子ども達や保護者の方々などがたくさん参加して下さった『夏の公開研修会』、保護者・教員が参加し、とても勉強になった卒業後の進路先に関する『事業所見学』、日ごろ本校のお子さんたちが通っている訓練機関や放課後等デイサービス事業所等に教員がお邪魔し、有意義な情報交換ができた『訓練見学』・『事業所見学』、相談支援事業所や放課後等デイサービス事業所等そのお子さんを支援する関係機関が一堂に介し、有意義な情報交換や話し合いができた『個別の支援計画策定会議(小4・中1・転入生に実施)』、銀河の会による様々な夏季個人企画など、全てが有意義な取り組みとなりました。

『子どもの未来をみんなで創る』ため、これからも校内校外の皆さんと力を合わせて頑張ります。よろしくお願いいたします。

(支援連携グループ長：橋爪美津子)

